



平成 26 年 10 月 14 日  
海 上 保 安 庁

## 第 5 回臨時国際水路会議の結果

本年 10 月 6 日～10 日にかけて、モナコにおいて第 5 回臨時国際水路会議が開催されました。

### 1. 日程

平成 26 年 10 月 6 日（月）～10 日（金）

### 2. 場所

レーニエ III 世国際会議場（モナコ公国）

### 3. 主な出席者

春日 茂 海上保安庁海洋情報部長

### 4. 主な結果

#### （1）キャパシティブルディング戦略の改定

キャパシティブルディング小委員会から各国水路機関の能力向上を目指した人材育成戦略が報告され、承認されました。

#### （2）信頼できる多様なデータソースの活用方策

民間船が取得した水深データについて、データ利用の指針を検討するため、新たなワーキンググループを設立することとなりました。

#### （3）人工衛星による水深測定技術の開発

測量が十分でない浅海域での人工衛星による水深測定技術を用いた海図作成について、今後も議論を継続することとなりました。

(4) 理事国選出手続きの明確化

新たに設置される予定の IHO 理事国について、選抜方法を明確化するための規則改正が承認されました。

(5) 決算報告及び来年度の事業計画

2013 年の決算報告書並びに 2015 年の作業計画及び予算が承認されました。

(参考)

国際水路機関：International Hydrographic Organization (IHO)  
海図や水路誌などの改善を通じて航海をより安全に行うことを目的として、1970 年に発効した「国際水路機関条約」に基づく国際機関（加盟国：2014 年 9 月現在 82 カ国）。

国際水路会議：International Hydrographic Conference (IHC)  
国際水路会議は、5 年に 1 度開催される IHO 条約加盟国の総会。  
臨時国際水路会議は、国際水路会議の中間の年に開催。